



エコアクション21
認証・登録番号0000922

平成30年度 環境経営レポート

対象期間：2018年5月～2019年4月



大場機工株式会社

2019年6月20日作成

OHBAKIKO CO., LTD

目次

1. 組織の概要	2 P
2. 対象範囲	4 P
3. 環境経営方針	5 P
4. 実施体制	6 P
5. 役割、責任及び権限	7 P
6. 環境経営目標	8 P
7. 環境経営計画	9 P
8. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	10 P
9. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果と その評価、並びに次年度の環境経営計画	11 P
10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	13 P
11. 代表者による全体評価と見直し・指示	14 P

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

大場機工株式会社
代表取締役 大場正晴

(2) 所在地

本社/工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8
T E L : 0544-27-6066
F A X : 0544-27-6214
敷 地 : 10,500m²
建 物 : 3,500m²

第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1
T E L : 0544-65-2188
F A X : 0544-65-2466
敷 地 : 10,000m²
建 物 : 3,000m²

◎本社/工場



H29. 1月撮影

◎第2工場



H25. 12月撮影

(3) 環境管理責任者、環境管理副責任者、
化学物質管理責任者の氏名及び連絡先

環境管理責任者 望月洋明
TEL:0544-27-6066 FAX:0544-27-6214
MAIL : hiroaki@ohbakiko.co.jp

環境管理副責任者 高柳真一
MAIL : yanagi@ohbakiko.co.jp

化学物質管理責任者 奥脇 洋
MAIL : oku@ohbakiko.co.jp

(4) 事業の概要

- ・ ステンレスパイプの製造
- ・ ステンレスパイプの2次加工（曲げ、穴あけ、絞り、接合等）
- ・ プラスチック光ファイバー製品の加工、組立、試作、販売
- ・ 工業用簡易型内視鏡の製造（イーリースコープ）

(5) 事業の概要

年 度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
売 上 高 (万円)	145,800	134,500	133,000	152,800	168,000
従 業 員	107名	107名	100名	98名	114名
本 社 敷 地	7,000㎡	7,000㎡	10,000㎡	10,500㎡	10,500㎡
本 社 建 物	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡	3,500㎡
第2工場敷地	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡	10,000㎡
第2工場建物	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡	3,000㎡

2. 対象範囲

(1) 認証、登録範囲

全組織、全活動、全従業員を対象とし、全社的に取り組む

■本社/工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8
→ 認証：2006年8月

■第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1
→ 認証：2006年8月

(2) レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2018年5月～2019年4月

発行日：2019年6月20日

3. 環境経営方針

環境理念

『事業活動が、地球環境に関わる影響を認識し、
全従業員が環境保全及び環境汚染防止に努め、より良い企業活動を行う』

基本方針

大場機工株式会社は、精密ステンレスパイプ製品、プラスチック光ファイバー製品の加工・組立技術を利用して、原材料を効率良く活用した省資源生産で社会貢献することを目指します。企業活動の中で、環境保全は経営の重要課題と捉えており、廃棄物の削減を通して環境に配慮した信頼される商品をお客様にご提供します。より良い地球環境保全を目指して、全従業員が環境保全及び環境汚染防止に努めて参ります。

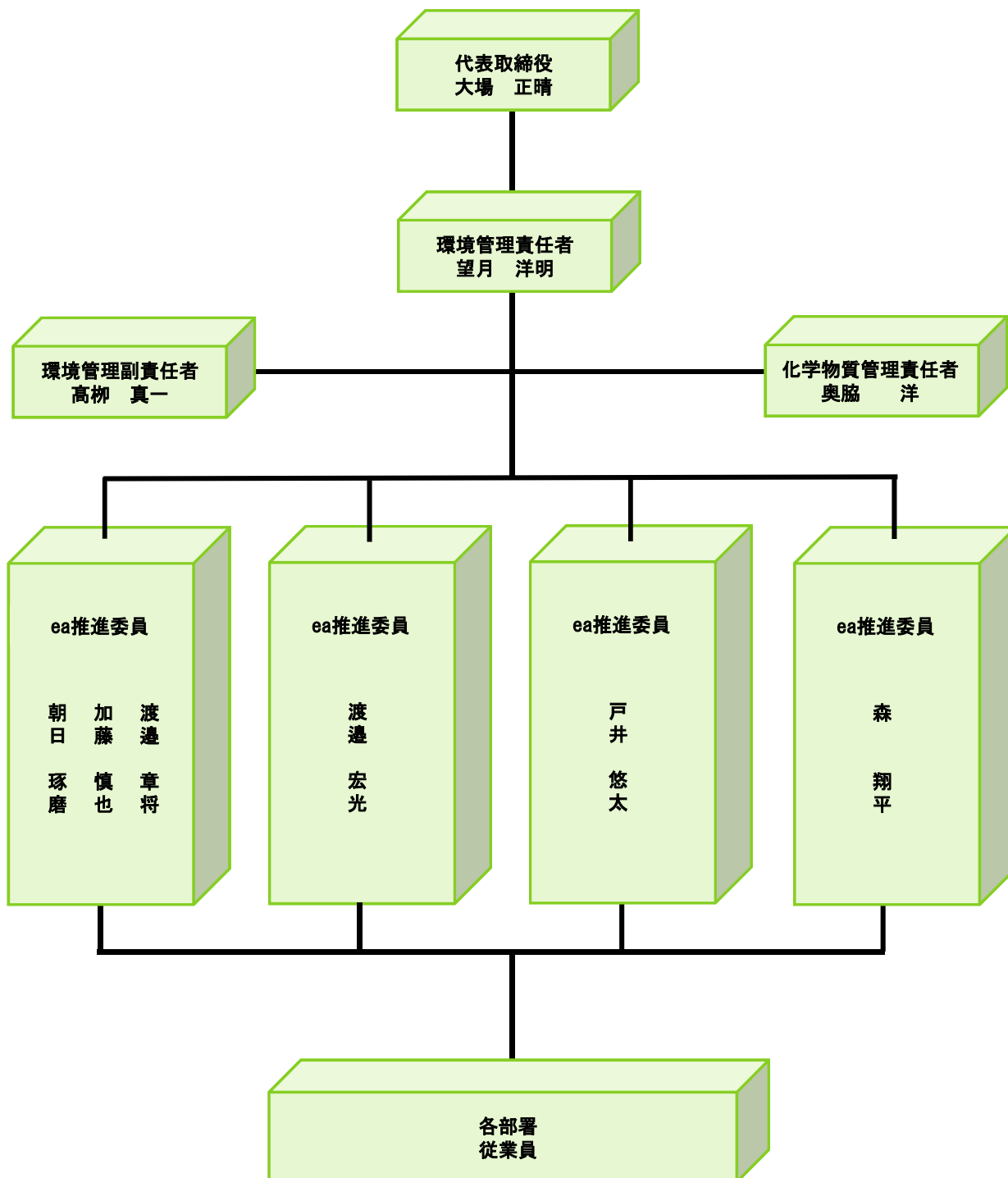
1. 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量等の削減に努めます。
 - 1) 電気、プロパンガス、ガソリン、灯油の使用量削減に努めます。
 - 2) 4R活動を通じて廃棄物の削減に努めます。
 - 3) 節水活動による水使用量の削減に努めます。
 - 4) 化学物質使用量の適正使用に努めます。
2. 環境関連法令及びその他関連要求事項を遵守します。
3. 環境に配慮した製造活動を通じて廃棄物の削減、在庫の削減に努めます。
4. 社員の環境への啓発及び地域・社会との環境活動を通じた社会貢献に努めます。
5. 環境経営方針は全社員への周知徹底を図るとともに、ホームページ及び環境活動レポートを社外に公開する事で社会とのより良いコミュニケーションを図ります。

平成19年6月14日制定
令和元年5月28日改訂

大場機工株式会社

代表取締役 大場正晴

4. 実施体制



令和元年 5月 1日 制定

5. 役割、責任及び権限

■代表者（代表取締役）

- ・ 環境経営全般に関する責任と権限
- ・ 環境経営に必要な資源の準備
- ・ 環境管理責任者、環境管理副責任者の任命
- ・ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ・ 環境経営レポートの承認
- ・ 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施

■環境管理責任者

- ・ 環境活動経営システムの全般の運用、管理
- ・ 環境目標及び環境活動計画の作成
- ・ 環境関連法規取りまとめ表の確認
- ・ 環境経営レポートの確認

■環境管理副責任者

- ・ 環境関連法規取りまとめ表の作成
- ・ 環境活動レポートの作成
- ・ 各課環境目標に対する取り組みの取りまとめ
- ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
- ・ 文書、記録の管理

■化学物質管理責任者

- ・ 環境物質管理体制の実行管理

■エコアクション推進委員

- ・ 部門の環境目標、環境活動計画の実施
- ・ 部門の問題把握と是正対策の実施
- ・ 部門の取組状況をQMS会議で報告
- ・ 部門の従業員教育

■その他の従業員

- ・ 自分の役割を守りエコアクション21活動を推進する。

6. 環境経営目標

活動項目	環境目標	単位	H27年度 (基準年)	H30年度目標	R元年度目標	R2年度目標
				H27年度対比	H30年度対比	H30年度対比
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO2	443,599	430,291	440,981	436,526
				-3.0%	-1.0%	-2.0%
	購入電力量 排出係数	kwh	789,135	773,352	864,340	855,610
				-2.0%	-1.0%	-2.0%
	ガス使用量	kg	1,516	1,478	1,760	1,742
				-2.5%	-1.0%	-2.0%
ガソリン使用量	ℓ	6,556	6,392	5,327	5,273	
			-2.5%	-1.0%	-2.0%	
灯油使用量	ℓ	2,108	2,044	5,419	5,365	
			-3.0%	-1.0%	-2.0%	
水資源 使用量	水道使用量	m ³	5,552	5,413	4,704	4,656
				-2.5%	-1.0%	-2.0%
廃棄物 排出量	可燃物排出量	t	4,940	4,767	4,360	4,270
				-3.5%	-1.0%	-3.0%
	廃プラスチック排出量	t	1,644	1,611	2,120	2,100
				-2.0%	-1.0%	-2.0%
コピー用紙使用量	kg (枚)	686 (170,000)	668 (165,750)	653 (162,000)	647 (160,500)	
			-2.5%	-1.0%	-2.0%	
グリーン購入比率		%	40.66	41.87	—	—
				+3.0%	—	—
製品/サービス ステンスくずの削減		kg	11,672	11,380	16,960	16,617
				-2.5%	-1.0%	-3.0%
化学物質購入量		kg	43,000	41,710	31,040	30,400
				-3.0%	-3.0%	-5.0%

7. 環境経営計画

部署	達成手段	担当者	計 画											
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
管理部	A4用紙使用量削減	営業 業務 総務	計測・実行						計測・実行				評価 まとめ	
	可燃廃棄物削減 前年比95%	朝日 加藤慎 渡辺 高柳	計測・実行						計測・実行				評価 まとめ	
パイプ事業部	包材のリサイクル化	秋山 鈴木 菝	調査	包材検討			客先確認及び実行					まとめ		
	収縮チューブ廃止	秋山 鈴木 菝	代替品の検討			客先確認及び実行					まとめ			
	梱包の簡素化	秋山 鈴木 菝	代替品の検討			客先確認及び実行					まとめ			
加工事業部	裏紙、両面印刷の推進 30%以上	戸井 加藤優	計測				確認	計測				まとめ		
	省エネ化の推進	吉田 戸井	現状調査		計画		実行		計測			まとめ		
光事業部	廃プラスチック 排出量の削減 H27年度対比98%	森	計測・呼び掛け											
	可燃物排出物の削減 H27年度対比98%	望月	計測・呼び掛け											

8. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

部署	達成手段	担当者	—	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	結果	
管理部	A4用紙使用量削減	営業 業務 総務	計画	計測・実行					計測・実行				評価・まとめ		達成		
			実績	計測	計測	計測	計測	計測	計測	計測	5,549枚	3,997枚	4,697枚	4,906枚		5,272枚	6,042枚
			評価	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○		○	○
	可燃廃棄物削減 前年比95%	朝日 加藤慎 高柳 渡辺	計画	計測・実行					計測・実行				評価・まとめ		未達成		
			実績	計測	計測	計測	計測	計測	計測	計測	93.3% -40.4kg	96.0% -27.2kg	95.3% -35.2kg	100.0% -0.3kg		115.7% +136.2kg	116.2% +146.0kg
			評価	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○		×	×
パイプ事業部	包材のリサイクル化	秋山 鈴木 菰	計画	調査		包材検討			客先確認及び実行					まとめ	達成		
			実績	現状 把握	現状 把握	外注 出し品 で検討	一部 実行	再 検討	実行状況 確認	キリィン グ シートへの 変更を 検討	キリィン グ シートへの 変更を 検討	キリィン グ シートへ 変更	外注に 使用 予定	外注に 使用		変更済	
			評価	—	—	—	—	—	—	△	△	○	×	○		○	
	収縮チューブ廃止	秋山 鈴木 菰	計画	代替品の検討			客先確認及び実行					まとめ	達成				
			実績	現状 把握	現状 把握	検討	検討中	検討中	代替品 使用	ホリチューブ 良好	ホリチューブ 良好	課題 1件		課題 継続	課題 継続	変更済 出荷時 のみ	
			評価	—	—	—	—	—	—	○	○	△		△	△	○	
梱包の簡素化	秋山 鈴木 菰	計画	代替品の検討			客先確認及び実行					まとめ	達成					
		実績	現状 把握	現状 把握	検討	検討中	検討中	キリィン グ マット 検討	外注 依頼品 1件 検討中	外注 依頼品 1件 検討中	通箱 検討		検討 継続	検討 継続	外注に 使用		
		評価	—	—	—	—	—	—	△	△	△		△	△	○		
加工事業部	裏紙、両面印刷の推進 30%以上	戸井 加藤優	計画	計測					確認	計測				まとめ	未達成		
			実績	26.53%	30.80%	19.97%	30.63%	30.24%	38.72%	27.84%	28.97%	30.55%	35.23%	21.06%		27.96%	
			評価	—	—	—	—	—	—	×	△	○	○	×		×	
	省エネ化の推進	吉田 戸井	計画	現状調査			計画		実行		計測				まとめ	未達成	
			実績	調査	調査	調査	計画	計画	再検討	再検討	再検討 新規購入 1件	再検討	再検討	再検討	再検討		
			評価	—	—	—	—	—	—	×	△	△	△	△	△		
光事業部	廃プラスチック 排出量の削減 H27年度対比98%	森	計画	計測・呼び掛け												未達成	
			実績	17.98Kg	10.30Kg	16.04Kg	20.24Kg	14.84Kg	17.20Kg	16.14Kg	16.52Kg	12.72Kg	10.96Kg	9.84Kg	12.84Kg		
			評価	—	—	—	—	—	—	△	○	○	○	○	×		
	可燃物排出物の削減 H27年度対比98%	望月	計画	計測・呼び掛け												達成	
実績			21.35Kg	22.02Kg	12.00Kg	18.04Kg	17.1Kg	8.76Kg	12.92Kg	8.32Kg	16.26Kg	9.04Kg	16.45Kg	16.41Kg			
評価			—	—	—	—	—	—	△	○	×	○	○	○			

9. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

活動項目	環境目標	単位	H27年度 (基準年)	H30年度 目標	H30年度実績	評価
					目標達成率	
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO2	443,599	430,291	445,435 103.52%	×
	購入電力量 排出係数0.474kg-CO2/kwh	kwh	789,135	773,352	873,071 112.89%	×
	ガス使用量	kg	1,516	1,478	1,778 120.30%	×
	ガソリン購入量	ℓ	6,556	6,392	5,381 84.18%	○
	灯油購入量	ℓ	2,108	2,044	5,474 267.81%	×
水資源 使用量	水道使用量	m ³	5,552	5,413	4,751.5 87.78%	○
廃棄物 排出量	可燃物排出量	t	4.940	4.767	4.405 92.41%	○
	廃プラスチック排出量	t	1.644	1.611	2.145 133.15%	×
	コピー用紙購入量/使用量	kg	686 (170,000)	668 (165,750)	660 98.80%	○
	グリーン購入比率	%	40.66	41.87	39.14 93.48%	×
	製品/サービス ステンレスくずの削減	kg	11,672	11,380	17,131 150.54%	×
	化学薬品購入量	kg	43,000	41,710	32,000 76.72%	○

活動項目	環境目標	H30年度各部の重点活動内容		評価/コメント	R元年度各部の重点活動内容
二酸化炭素排出量	購入電力量	■加工事業部 省エネの推進	×	新工場建設の計画に合わせて実施予定	■管理部 契約電力の見直し ■パイク事業部 設備の電力把握 ■光事業部 電気使用量削減
	ガス使用量	■加工事業部 使用量の把握継続	×	H29年度実績：779.164m ³ H30年度実績：780.988m ³ 前年比：100.23% (+1.824m ³)	■加工事業部 使用量の削減
	ガソリン使用量	■管理部 ・エコドライブ推奨 ・燃費管理 ・低燃費車の優先使用	○	本 社：3,796ℓ 社用車燃費 プリウス：20.82km/ℓ プリウスα：17.72km/ℓ プリウスα：18.35km/ℓ	■管理部 社用車燃費向上
	灯油使用量	■パイク事業部 回収装置導入後の経過観察継続	○	H29年度実績：14,057ℓ H30年度実績：5,474ℓ 前年比：38.94% (-8,583ℓ)	■パイク事業部 回収装置稼働に伴う使用量の把握
水資源使用量	水道使用量	■加工事業部 使用量のデータ収集及び漏水チェックの継続	○	H29年度実績：4,521.921m ³ H30年度実績：4,348.387m ³ 前年比：96.16% (-173.534m ³)	—
廃棄物排出量	可燃物排出量	■管理部 可燃廃棄物量削減 前年比95%	×	H30年度目標：901.3kg H30年度実績：1,047.3kg 目標対比：116.20% (+146kg)	—
		■光事業部 可燃廃棄物量の削減 H27年度対比98%	○	H30年度目標：219.56kg H30年度実績：200.89kg 目標対比：91.50% (-18.67kg)	—
	廃プラスチック排出量	■光事業部 廃プラスチック排出量の削減 H27年度対比98%	×	H30年度目標：134.67kg H30年度実績：153.40kg 目標対比：113.91% (+18.73kg)	—
	コピー用紙使用量	■管理部 A4用紙使用量削減	○	H30年度 A4用紙使用枚数：60,834枚	—
■加工事業部 裏紙、両面印刷の推進 30%以上		×	白紙使用枚数：11,305枚 裏紙使用枚数：4,783枚 トータル枚数：16,088枚 裏紙使用比率：29.73% (-0.27%)	—	
グリーン調達		■管理部 ・グリーン購入額の把握 ・含有調査(ROHS、PFOS等)	×	H30年度目標：41.87% H30年度実績：39.14% 目標対比：93.48% (-2.73%)	—
製品/サービス ステルスくずの削減		■パイク事業部 ①包材のリサイクル ②収縮チューブ廃止 ③梱包の簡素化	○	①キルティングシートに変更 ②チューブの材質変更 ③コイル梱包の通箱化	■加工事業部 在庫の削減 ■光事業部 適正在庫
化学物質購入量		■パイク事業部 回収装置導入後の購入量のデータ収集継続	○	H29年度実績：34 t H30年度実績：32 t 前年比：94.11% (-2t)	■パイク事業部 回収装置での回収量把握

10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法令・条例等	適用内容又は規制基準値	備考	順守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の順守 収集運搬業者及び処分業者との委託契約 委託契約書の保管 マニフェストの管理 マニフェストの交付状況報告	表示板(60cm×60cm) 契約書及び許可書 保存期間：5年間 A、B2、D、E票の保管 1回/年	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例第8条	産業廃棄物管理責任者の選任 産業廃棄物処理の委託先の実地確認	管理責任者：高柳真一 1回/年以上	○
騒音規制法第6条第1項(第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例第53条第1項(第54条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
振動規制法第6条第1項(第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例第80条第1項(第81条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
水質汚濁防止法 第5条第1項(第6条第1項)、第7条	特定施設設置届出書 廃水の水質調査	洗浄施設/蒸留施設 1回/月	○
土壤汚染対策法	有害物質使用特定施設(水濁法)の廃止	土壤汚染調査	○
フロン排出抑制法	設置、使用、廃棄の義務 点検の実施 漏えい量の算定、報告	簡易点検：3ヶ月に1回 定期点検：3年に1回 (7.5kw以上～50kw未満の空調機器)	○
労働安全衛生法	定期健康診断 特定業務従事者の健康診断 局所排気装置設置届 局所排気装置定期自主検査 作業環境測定	1回/年 1回/半年 届出済 1回/年 1回/半年	○
消防法	ボイラー設備の届出 少量危険物 貯蔵の届出 防火管理責任者の選任(法第8条) 消防設備の設置届及び点検	少量危険物 貯蔵の届出 第4類 灯油 最大貯蔵数量950 L 防火管理責任者：高柳真一 届出済、1回/半年	○
浄化槽法	法定検査 保守点検、清掃	1回/年 保守点検：4回/年、清掃：1回/年以上	○
PRTR法	対象物質使用量管理 SDSの管理	1回/年 —	○
RoHS規制 REACH規制	顧客からの要求事項の順守	—	○
関連法規	家電リサイクル法・パソコンリサイクル法 自動車リサイクル法	家電、パソコン 社用車 エアコン、室外機	○

2. 違反、訴訟等の有無

過去3年間の違反、訴訟等はありません。

3. 近隣からの苦情

過去3年間の環境関連に関する近隣からの苦情はありません。

11. 代表者による全体評価と見直し・指示

1. 環境活動の取組のチェック

部署	活動内容	評価
管理部	A4用紙使用量削減	○
	可燃廃棄物削減 前年比95%	×
パイプ事業部	包材のリサイクル化	○
	収縮チューブ廃止	○
	梱包の簡素化	○
加工事業部	裏紙、両面印刷の推進 30%以上	×
	省エネ化の推進	×
光事業部	廃プラスチック排出量の削減 H27年度対比98%	×
	可燃物廃棄量の削減 H27年度対比98%	○

2. 代表者による全体評価・見直し指示

項目	評価	指示事項
1. 環境経営方針	経営における課題とチャンスを省資源生産、在庫の削減を念頭に策定	令和元年度の環境経営計画から反映する。
2. 環境経営目標	今年度は多忙な状況もあり、平成27年度対比の目標に対して未達が多くなってしまった。	来年度から原単位を用いて実施する。
3. 環境経営計画	毎月のQMS会議で進捗を確認した。 梱包材のリサイクル化や梱包の簡素化など	合理化、自動化を行い削減に努める。
4. 実施体制	EA21推進委員がマンパワーカフェの外部講習を受講。推進委員の教育の場となっている。	令和元年度から推進委員に管理部業務・資材G 1名を新たに任命しました。
5. その他	変更の必要性	変更の指示、またはコメント記載
1) 環境関連法規	有・ 無	環境活動レポートをホームページで公表 活動報告は毎月行われるQMS会議の場を活用している。
2) 環境コミュニケーション	有・ 無	—
3) 問題点の是正・予防処置	有・ 無	—
4) 環境上の緊急事態への対応	有・ 無	災害避難訓練を2018.10.16実施

評価日：令和元年5月10日

代表者：大場 正晴